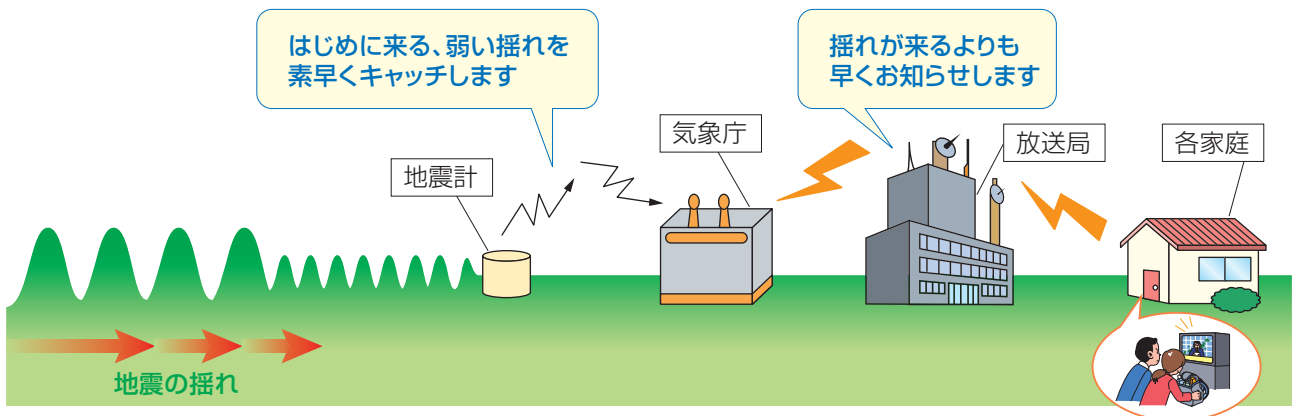


緊急地震速報

地震では、P波と呼ばれる小さな揺れの後、S波と呼ばれる大きな揺れが来ます。緊急地震速報は、このP波をとらえ、地震の規模や震源地を予測し、大きな揺れのS波が来る数秒から数十秒前に発表するものです。震度4以上の揺れがあると予測された地域に、気象庁が発表します。

この緊急地震速報は、震源の近くでは大きな揺れに間に合わないこともあります。予測震度で、プラスマイナス1程度の誤差もあります。わずかな時間をいかし、地震の被害を減らすことができるものとして、開始されました。

諏訪広域では、200箇所以上の公共施設で高度利用者向け緊急地震速報を利用できるようになりました。この高度利用者向け緊急地震速報では、地震の発生時刻や発生場所、震度4以上が予想される地域名など、一般向けよりも詳細な情報が得られます。



※場所によっては、揺れの方が早く来る場合もあります。

緊急地震速報を聞いた時

緊急地震速報を聞いたときには、あわてず、周囲の状況に応じて、まず身の安全を確保。緊急地震速報を見聞きしてから、実際に強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒しかありません。この短い時間の間に、身を守るための行動を取ってください。

<家庭では>

- 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる
- あわてて外へ飛び出さない
- 無理して火を消さない



<人がたくさんいる施設では>

- 係員の指示に従う
- 落ち着いて行動する
- あわてて出口に走り出さない



<自動車運転中は>

- あわててスピードを落とさない
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す
- 緩やかに速度を落とす
- 大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止

